

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	学び舎 中川校		
○保護者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年9月18日		～ 2025年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	グループのB型作業所への実習や作業体験を通して雰囲気を感じたり、作業内容や慣れた職員とのかかわりを通して安心感を得ながら将来の就労をイメージできる。	月に1回程度B型作業所へ作業体験に行ったり、職員とかがわれるようにしている。	子どものレベルに応じて作業内容をかえたり、支援方法を共有し子どもの強みを共有できるようにしていく。
2	小学生以上の年齢層の子どもが集まり、互いに協力したり遊べる機会づくりの場が提供できている。	思春期ならではの距離感について学ぶSSTの時間を設けたり、個人個人が一人の時間をとれるように配慮している。	相談室などを使ってマンツーマンで相談ができる時間を作ったり、保護者に対しても同年代の子どもの姿を共有し、家庭での子育てにも役立てるようにしていく。
3	中高生という進学、就職を見据えた年齢層にあった支援環境。	平日は宿題を行うとともにカリキュラムに軽作業を取り入れ、作業手順やマナーを学べる機会を作っている。保育士や作業療法士を配置しているため専門的知識の上の支援ができています。	保護者の要望や本人の思いに応じて作業の時間でもテスト勉強や、学校の課題を行う時間に変更できるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会が少なく、障害のない学童などと接する機会は少ない。	室内でのカリキュラムが大半で、イベント時以外は戸外に出る機会がないため。	小物を制作したり、発表する場を通して地域交流の機会を設けたり課外での活動が行えるようにしていく。
2	保護者会などを開催し保護者同士で情報共有を図る場がない。	保護者会を開催したケースがなく、アンケートでも保護者会のニーズもあまりないため開催を見送ってきた経緯がある。	保護者会等の要望があれば事業所間で意見を募り、情報共有できる場が持てるようにしていく。
3			